

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

1年間お疲れ様でした！

令和5年度最後の研修として1月18日(木)に訪問コンサルティング、2月5日(月)に集合研修を実施しました。



▲訪問コンサルティングのようす



▲集合研修のようす

3施設ともアシスタントワーカーの勤務が始まっており、日々の業務や、職員の意識において、変化を感じています。

〈効果・変化についての意見(一部)〉

- 利用者の方についての支援会議や、研修を実施する回数が増えた。
- 基本の業務を後回しにすることなく、予定どおりに実施できるようになった。
- マニュアルを作成したことにより、教え方のばらつきがなくなった。

また、最後の集合研修では、1年間を通して受け入れ体制の整備、人材の育成に取り組んだことを証する“修了証書”の授与を行い、最後には全員で記念撮影をしました。

大切なのは、今回の新しい取組みを、職場が一体となって継続させていくことです。

取り組まれた施設の皆さま、本当に1年間お疲れ様でした。そして、本事業での経験を活かして、福祉・介護人材がさらに輝く職場となることを期待します。

記念撮影！1年間お疲れ様でした！



メンバー施設会議を実施しました

2月22日(木)には、本事業に取り組む全施設が集う『メンバー施設会議』を実施し、アシスタントワーカー導入における課題共有・意見交換をおこないました。

本事業は令和2年度から始まり、年齢や介護経験の有無にかかわらずたくさんのアシスタントワーカーが各施設で活躍しています。メンバー施設会議では、引き続き定期的な情報の交換を行いながら、アシスタントワーカーの普及に向けて一体となりこれからも取り組んでいきます。



▲メンバー施設会議のようす